

第13期

リーダーのための リベラルアーツコース

時代・場所・社会を選ばない『日本発のグローバルビジネスリーダー』を育成。
歴史・世界を巨視的に捉え、自分なりものの考え方の軸を得て、
信頼を集める人格的教養を修めるリーダーシップ開発プログラムです。

コースの特長

1 「ビジネスリーダーとしての魅力と人間力」を磨く、 リベラルアーツ四科の学び

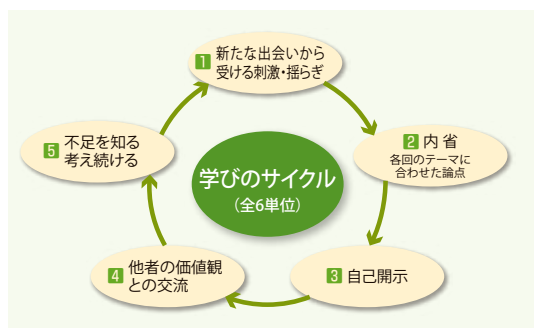
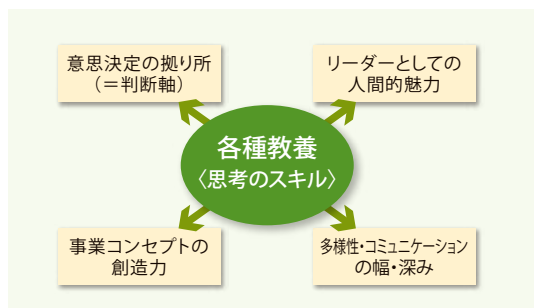
「日本のビジネスリーダーの弱点」の克服、世界のビジネスリーダーとわたりあえる本格的教養として、「哲学」、「宗教」、「歴史」、「国際社会」の四科を主に学習します。

2 「ものの見方・考え方への強いインパクト」を もたらす各界知識人たちの対話

各分野専門家から直接、哲学・歴史・思想等を学び、体験し、他社・他者との対話や、個別の思考の鍛錬により、豊かな視点や考え方を獲得し、リーダーに必要な「大局的経営観」を醸成します。

3 意識・行動変容をもたらすための 「学びのサイクル」の徹底


ビジネス経験豊富なコーディネータの進行により、単なる「知識」の習得ではなく、判断の基準となる「自分なりのものの見方・考え方の軸」を形成する対話を徹底的に行います。




龍安寺石庭での思索。10月京都合宿にて

コースの概要

期間・日数、定員	2025年9月～2025年12月(全6回・9日間)、定員24名		
参加料 (税込/1名)	法人会員	¥605,000	
	法人会員外	¥770,000	
主な対象者	<div>■ 将来の経営幹部候補者</div> <div>■ 国内外に関わらずビジネスリーダーとして活躍が期待される方</div> <div>■ 近い将来に海外事業・業務に従事される方</div>		
過去の参加企業 (法人格略、一部、会社名当時) ※50音順	<div>・ アイシン</div> <div>・ NECフィールドینگ</div> <div>・ エフサステクノロジーズ</div> <div>・ エムエスティ保険サービス</div> <div>・ オリンパス</div> <div>・ 共立ホールディングス</div> <div>・ 小林製薬</div> <div>・ JR東日本建築設計</div> <div>・ SUBARU</div>	<div>・ 全日本空輸</div> <div>・ 武田薬品工業</div> <div>・ TSネットワーク</div> <div>・ DCM</div> <div>・ 東京エレクトロン</div> <div>・ 東京ガス</div> <div>・ 東京地下鉄</div> <div>・ ニチレイフーズ</div> <div>・ 日清オイリオグループ</div>	<div>・ 日鉄ソリューションズ</div> <div>・ 日本航空電子工業</div> <div>・ 日本政策金融公庫</div> <div>・ 日本たばこ産業</div> <div>・ パナソニック</div> <div>・ 日置電機</div> <div>・ 日立製作所</div> <div>・ 本田技研工業</div> <div>・ マツダ</div> <div>・ 三井金属鉱業</div> <div>・ 三井住友海上火災保険</div> <div>・ 三越伊勢丹</div> <div>・ 三菱HCキャピタル</div> <div>・ 三菱ケミカル</div> <div>・ 三菱造船</div> <div>・ ヤマハ</div> <div>・ ヤマハ発動機</div>



討議中心の受講の様子



龍安寺石庭での恩索。10月京都合宿にて

プログラム概要（2025年度予定）

プログラム（全6回・9日間）

単位	日程	テーマ	各単位のポイント
1	2025年9月 2日間（通い）	●リベラルアーツ概論 ●哲学 リベラルアーツを学ぶ意義と、共通理解としての「哲学」の技術と意義を理解し、考察する 1) オリエンテーション 2) リベラルアーツを学ぶ意義 3) 哲学：共通理解の技術	事前課題 必読書 経営者講演 個人レポート
2	10月 1日間（通い）	●世界と宗教 宗教を補助線として、グローバル世界、日本社会の見え方を考察する 1) 宗教で読み解く世界 2) 国際社会での宗教の位置づけ	事前課題 必読書・動画視聴 個人レポート
3	10月 3日間（合宿）	●日本文化、歴史 ●日本人の価値観 日本人の価値観を形作る基礎となる文化、歴史について体験やフィールドワークを交えて深く洞察する 1) 日本人の価値観 2) 日本の美意識の継承 3) 歴史からみた日本人の特性	施設訪問 茶道体験 フィールドワーク 個人レポート
4	11月 1日間（通い）	●国際社会 日本企業や日本の企業人の国際社会におけるプレゼンスとそのとるべき行動について考える 1) ビジネスにおけるルールメイキング 2) 国際社会は何を求めているのか	事前課題 必読書 個人レポート
5	11月 1日間（通い）	●人間観、徳 ●倫理観 ビジネスリーダーがもつべき経営哲学について職業倫理、公共哲学の観点も交えて考察、自分なりの経営哲学を模索する 1) 職業倫理：組織の論理と良心 2) リーダーの拠り所：経営哲学と良心	事前課題 ゲストコーディネータ講義 個人レポート
6	12月 1日間（通い）	●大局観 ●自己、日本、世界 リーダーとしての「決断」、何をなすべきか。個人発表と全体ディスカッションを通じて、自分なりの軸を持つ「哲学」の確立に向けて、深く思索します。本コースの総仕上げとなるセッション 1) リーダーとしてなすべきこと 2) 大局観をもつこと 3) 自身の「哲学」とは	事前課題 経営者講演 個人発表 事後レポート

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

主な講師陣（敬称略・役職当時）2022年度～2023年度実績

全体コーディネータ



石田 寛
経済人コー円卓会議
日本委員会 事務局長



小原 雅博
東京大学名誉教授
名城大学特任教授

ゲストコーディネータ



嶋田 博子
京都大学公共政策大学院
教授



濱崎 加奈子
公益財団法人有斐斎弘道館
代表理事



西 研
東京医科大学 哲学教室
教授



橋爪 大三郎
社会学者
東京工業大学名誉教授
大学院大学至善館教授



必読書、参考書籍の一部